

前進する

「むらぐるみ農業」

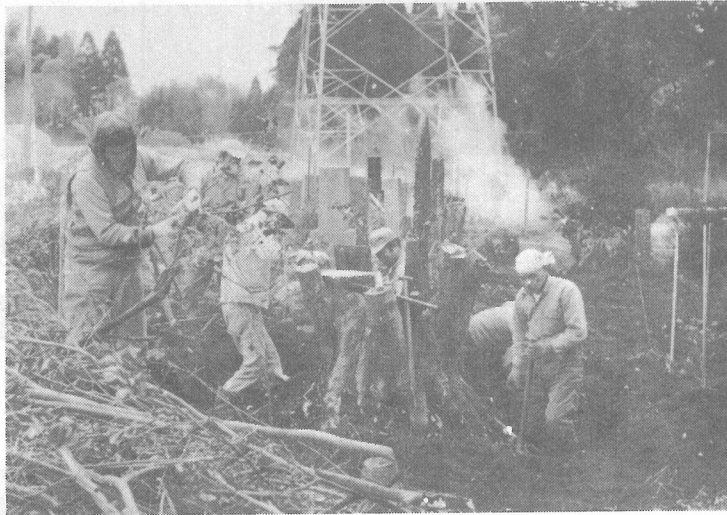
「むらぐるみ農業」は「むら」に住む人達全員
の参加によって、これからの自分達の部落の農業
をどうするか、暮らしくするには何が必要かを
みんなで話し合い、検討して、住みよい豊かなむ
らづくりを目指すとするもので、県から、指定
を受けた中台部落では今、おらがむらづくりに
意欲的にとりこんでいる。

県が、役所指導型から農民主導
型へと、農政の転換を試みて始め
た「むらぐるみ農業」。中台部落
では、村ぐるみ農業推進委員
(怒賀源也、石橋勇、橋川ユキ)
を中心に、農村生活環境改善事業
として、部落三カ所の共同墓地の
整備を始めた。

既に農夫病対策としての健康診
断、防犯灯、カーブミラーの設置
など「むらぐるみ」による各事業
を実施している。

「昔から荒れ放題で、樹木がう
っそうと生い茂り、声を出さない
と隣にいる人もわからないような
仕末だった。」といわれる共同墓
地は、部落の人達の手でどんだん
切り開かれ、見違える程きれいに
なっていく。歩道はコンクリート

墓地中央の大木の切株を取り
除く作業にも余念がない



を流し、中央にはおとしよりの休
息所としてベンチを置き、かきね
はブロックと青竹で結った。作業
の合の間、ある部落民は「部落総出
の作業で親近感が戻った」と話し
声も明るい。

「ことしは畜産農家と耕種農家

の運びによって、堆肥舎をつ
り、地力増進を図りたい」と、早
くもこの事業に意欲を燃やしてい
る。

「むらぐるみ農業」は着々と前
進している。

せんきよだより

〔その一〕

明るくきれいな選挙は、選挙のときばかりでなく、選挙のな
いふだんのときから、みんながお金のかからない正しい選挙を
心がけることによって、はじめて実現するものです。そのため
には「贈らない、求めない、受けとらない」の三ない運動によ
って、お金と選挙とのつながりをたち切ると同時に選挙のしく
みについて知ることが大切であろうかと思えます。

そこで来年に統一地方選挙をひかえて、選挙にのぞむ有権者
として覚えておきたいことについて、今回から数回にわたって
掲載しますので一読され、明るいきれいな選挙の実現に御協
力下さい。

◎選挙にはどんな種類があるか
一般に「選挙」というのは、

一定の地位につく者を選び出す
手続きや行為を総称しているも
のとされていますが、選挙のル
ールを定めている公職選挙法で
は、一定の地位というのは、公
職の地位のことであり、これは
衆議院議員、参議院議員、都道
府県の議会議員や知事、市町村
の議会議員や市町村長の職をさ
してあります。ここで選挙の種類
というのは、公職の選挙の種類
であり、さらに選挙が行われる
事由、形態の面からみると次の
ような種類に分けられます。

○衆議院議員の選挙

総選挙
(任期満了または解散による
選挙)、再選挙(当選人の不
足等を補うための選挙)、補
欠選挙(議員の欠員を補充す
るための選挙)

○参議院全国選出、地方選出議
員の選挙

通常選挙(任期満
了による選挙)、再選挙、補
欠選挙

○地方公共団体の議会議員の選
挙

任期満了または、議会の
解散による一般選挙

○地方公共団体の長の選挙

任期満了による選挙、長が欠け
たときまたは、退職の申立て
があつた場合の選挙、再選挙
など。

なお、公職の選挙は、国政や
地方政治を行なう者を選ぶ重要
な選挙であるため、特に公正か
つ、円滑な管理執行態勢が必要
であり、このため、厳正中立の
第三者の機関、すなわち選挙の
事務を管理する機関(選挙管理
委員会)が選挙の種類や選挙の
区域などによって定められてい
ます。